

輪島市復興まちづくり計画(案)に対するパブリックコメントでの御意見と輪島市の考え方

「輪島市復興まちづくり計画(案)」の策定に当たり実施しましたパブリックコメントにおいてお寄せいただいた御意見等とそれに対する輪島市の考え方をとりまとめましたので公表します。

募集期間	令和6年12月25日(水)から令和7年1月23日(木)まで
意見提出者数	22名
意見等件数	89件

No.	頁	該当箇所	御意見等	輪島市の考え方
1	8	「輪島市復興まちづくり計画(案)」に関する意見募集について	各項目に対してどの程度頻度でまた誰と意見交換をしたのか?明確に記されたい。またその意見が主な課題となったことは明記されているが、どの様にこの計画の何処に反映されているのか、明確に記されたい。	復興まちづくり計画策定までの各段階での意見交換の回数については参考-5 ページにお示ししたとおり、検討委員会、住民懇談会、わじま未来トーク、区長会長等への個別訪問(19 地区それぞれ複数回実施)、各種団体との協議等、回数及びその内容は多岐に渡っており、網羅的にお示しすることは困難ですが、これまでいただいた御意見等を踏まえ、本計画でお示した施策を記載しております。 なお、これまでの検討委員会での議論の内容(資料及び議事要旨)については輪島市ホームページに掲載しておりますので、併せて御確認ください。
2	10	1-1(2 段落) 「住まいの自力再建や耐震性向上に対する支援」や「災害公営住宅の建設」等、支援の多様性の確保により、豊かな日常生活の確保を目指すとともに、被災者の生活再建に向けた支援を推進します。	深見町は災害公営住宅の建設を深見町に望んでいることをお伝えする。	災害公営住宅の設置につきましては、将来の持続可能な施設運営の観点から、将来都市構造図(p.17)における中心拠点、地域拠点、地区拠点等での整備が望ましいと考えております。 地区ごとのご要望については御意見として承り、今後の施策に活かしてまいります。
3	13	重点プロジェクトの追加 あたらしい輪島経済を作るプロジェクト	・ネットを活用した新しい販路の拡大拡充 復興後の生業(水産、農産、伝統工芸など)を持続させるための新たな販売アプローチの強化 通販やふるさと納税返礼品などを活用した販路拡大と拡充。生業の方々の生活を支え、事業を持続させるための売上改善の一助としたい。 また、現地での観光に気をつかう人は多く、ネットを活用した物販であれば利用者が遠慮することなく支援いただけるものとする。	御意見を踏まえ、「2-3-2 中小企業の持続的な経営支援」(p.41)において行政の取組の項目について、次のとおり修正します。 《現行(案)》 ・中小企業及び小規模事業者の販路開拓(物産展への参加機会を増やす等)や商品開発等を支援します。 《修正》 ・中小企業及び小規模事業者の販路開拓(物産展への参加機会を増やすことやネットを活用して新たな顧客の獲得等)や商品開発等を支援します。
4	13	重点プロジェクトの追加 あたらしい輪島経済を作るプロジェクト	・新しい地域特性と個性の創成、地域の魅力を伝える情報発信 豊かな環境と資源、人のつながりがある土地であることを伝えるためにも一例としてDIYができる町として10畳ほどの平屋住宅を自身で建設できる環境の提供。 平屋を作るための木材セットのパッケージ商品やエリアの整備をおこなう。 地域の新しい特色、空き地・空き家の有効活用、移住者の強化、地元の木材資源活用、地元技術者との交流の場やSNS発信などによる地域広報に期待ができる	移住者に関する施策は、「3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実」(p.45)、交流に関する施策は「3-2-5 温かみがある暮らしの再生」(p.48)、SNSなどデジタル技術に関する施策は「3-2-7 デジタル技術の活用」にそれぞれ記載しています。 いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
5	13	重点プロジェクトの追加 あたらしい輪島経済を作るプロジェクト	・起業支援 起業のためのスタートアップ支援(輪島の住宅や土地の現状課題から神奈川県横須賀の団地、月見台住宅の暮らしながら働く人にむけた取り組みがイメージとして近い)	起業支援に関しては、「2-3-2 中小企業の持続的な経営支援」(p.41)の取組内容として、起業・新規出店事業補助金の支援内容の拡充や「2-3-4 創業・企業や就労者の支援」(p.42)の取組として記載しています。 いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
6	13	04 復興にむけたシンボル・重点プロジェクト 「5 輪島の恵みを取り戻すみなと復興プロジェクト」	すばらしい観光資源が豊富な輪島市と能登。これを生活の生業の再建、再興まちづくにつないでいくことが重要です。特に「クルーズ船寄港」計画は大賛成です。クルーズ船は2000-3000人もの人を運んでくるので一大観光事業になる。	復興まちづくり計画は、本市の復旧・復興の実現に向けた基本理念を示すとともに、一刻も早い復興の達成を目指し、今後の取り組むべき施策を体系的に定めた復興の指針となるものであります。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
7	17	将来都市構造	「将来都市構造」計画における「西保」と「七浦」の地区拠点と都市連携軸から大きく外れている。	将来都市構造(p.17)に記載の都市連携軸は、あくまで広域的なネットワークや災害時の主要な幹線道路を念頭に位置付けており、必ずしも各地区拠点を全て結ぶものとしての位置付けはしておりませんが、「3-1-1 公共土木施設等の早期復旧、強靱化及び交通ネットワーク・ライフラインの多重化」(p.43)に示したとおり、被災した国道、県道、市道等については、復旧工事促進に向けた国・石川県との連携強化により、道路ネットワークの早期の復旧を目指すものとしております。
8	22	1-1-1 被災者の経済的支援の推進	発災から1年経って、住まい再建を考えている人が大勢います。住まい再建の様々なモデルを提示して相談できる会をしてください。	石川県において「いしかわ21世紀住まいづくり協議会」と連携し、被災された方々が、再建意欲を高めるための住宅の具体的なイメージを持つことを目的とし、様々なライフスタイルに応じたモデルプラン集をとりまとめております。本市においても石川県と連携し、住まい再建に関する相談を実施してまいります。
9	22	1 被災者の生活再建	①町野町金蔵集落において、ふるさとの棚田の景色が見られるこの地区の作付けが速やかに始まるよう方策を示してほしいと思います。 ②棚田のある金蔵地区の人たちは集落内に復興住宅と建設してほしいと願っている。田んぼ・畑に近い所に居住し農作業に行きたいという。それが耕作の基本であり田畑とともに暮らしてきた人を遠隔地の復興住宅から通わせることは不可能である。また高齢者は「今日やることある」「役割がある」「顔見知りとの助け合い・交流がある」ことが心身の健康保つ上での常識である。在宅福祉・地域福祉の観点からも「農作業・暮らしとともにある復興住宅暮らし」を要望する。	「2-2-1 農林水産業の再建・発展に向けた支援」(p.38)にお示ししているとおり、被災した農地、農業用施設、地すべり保全施設、海岸保全施設について、国や石川県と連携して早期復旧を目指すものとしております。 また、災害公営住宅の設置については、将来の持続可能な施設運営の観点から、将来都市構造図(p.17)における中心拠点、地域拠点、地区拠点等での整備が望ましいと考えております。 地区ごとの御要望については御意見として承り、今後の施策に活かしてまいります。
10	22	1 被災者の生活再建	日常生活を支える地域コミュニティの再建をしてほしい。 新潟県中越地震後の復興計画を参考にしてほしい。集落内に復興住宅を建て集落ごとの助け合いの関係を引き継ぎ、復興にむけての計画が進められた。	災害公営住宅の設置については、他の自治体の事例も参考にしつつ、将来の持続可能な施設運営の観点から、将来都市構造図(p.17)における中心拠点、地域拠点、地区拠点等での整備が望ましいと考えております。 地区ごとの御要望については御意見として承り、今後の施策に活かしてまいります。
11	23	1-1-4 保健・福祉施設等の早期復旧	(イメージ欄)に「医療のあり方について地域で話し合い、市に対して提案します」と書いてあるように、奥能登公立4病院機能強化検討会の問題に関して、市民が理解できるように、この問題にテーマを絞って各地域で懇談会を開いてほしいと思います。また、医療従事者によるシンポジウム等も開催してください。	医療につきましては現在、高次医療の対応や産婦人科の医師不足など、奥能登2市2町だけでは解決が困難な状況にあります。そのため、石川県による奥能登公立4病院機能強化検討会が開催され、そこで将来の医療や病院のあり方について検討していくこととしており、いただいた御提案を参考として取り組んでまいります。
12	23	1-1-4 保健・福祉施設等の早期復旧	「市民や事業者等の取組(イメージ)」に以下の文言の追記 日頃から健康相談ができるかかりつけ医を持ち、予防接種や健康診断を受け、健康増進に努めます。	御指摘のとおり、地域医療においてかかりつけ医の存在及びその役割は重要です。御指摘を踏まえ、「1-1-4 保健・福祉施設等の早期復旧」(p.23)における「市民や事業者等の取組(イメージ)」に以下の文言を追記します。 ・日頃から健康相談ができるかかりつけ医を持ち、予防接種や健康診断の定期的な受診をはじめとした健康増進に努めます。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
13	25	1-1-8 仮設住宅の適正な維持管理	「まちづくり計画」における「仮設住宅の適正な維持管理」項目において、「市民や事業者の取組」が具体的に示されていない点に懸念を感じます。	仮設住宅については入居者において自主的に適切に管理していただくこととしており、行政としては利用期間が長期化する場合の建物の修繕を実施することについて、本計画の中で位置付けしております。
14	25	1-1-7 公営住宅の整備	1-1-4 に、「誰もが最期まで住み慣れた地域で生活続けることができるように」と記載されている。また「自らの健康や生きがい役割を見出し」ともされている。しかし、1-1-7 に「被災者が、自らの今後の生活や住まいの再建方法について考え」とされているが、各所に記載されているのは、「安全・安心な場所への生活拠点の集約化・・・」である。 この計画案は、前提が周辺地域の廃村化・切り捨てであることが見透ける。周辺地域であっても、元の集落に戻したい、元よりもっと良い集落にしたいと考えて努力している地域には、市側からの応援があってもよいのではないかと。計画案には、そのことを記載し、市側の意思を示して欲しい。具体的には、希望する集落があるとするなら、その集落への「災害復興公営住宅の建設」である。	災害公営住宅の設置については、将来の持続可能な施設運営の観点から、将来都市構造図(p.17)における中心拠点、地域拠点、地区拠点等での整備が望ましいと考えております。 地区ごとの御要望については御意見として承り、今後の施策に活かしてまいります。
15	26	1-1-9 住宅の強靱化支援	「住宅の強靱化支援」にて再生可能エネルギーの取り組みとして太陽光パネルや蓄電池の活用を推進している一方で「想定する事業、補助メニューまたは具体的な取り組み等」では海上風力を推進しているのは一貫性に問題があるのではないかと。これらの取り組みの連携性を明確にし組み合わせの要点を決めることが必要です。また、各家庭に太陽光パネルや蓄電池、エコカーなどの設置を推進するなら補助金制度を設けることも必要だと考えます。	御意見を踏まえ、「1-1-9 住宅の強靱化支援」(p.26)において想定する事業、補助メニューまたは具体的な取組等の項目について、次のとおり修正します。 《追加》 ・グリーンイノベーション推進事業(仮称) 《削除》 ・洋上風力発電調査研究事業
16	27	1-2-1 地域コミュニティの再構築・育成 1-2-2 集会所等の再建	コミュニティが進んでいない仮設住宅のコミュニティを進めるために、市や社協等でリーダーシップを発揮し、取組んでください。	これまで仮設住宅の入居者の皆様に対して代表者を決めていただくよう、お願いをしてきたところでありますが、御指摘のとおり様々なコミュニティが混在しており、なかなか一本化できておりません。このような状況であることから今後は、市から代表の候補者に依頼してまいります。
17	29	重点プロジェクト2関係 1-3-2 子育て支援のための環境整備 ・都会や他地域からの児童生徒を積極的に受け入れつつ、地域住民と外部からの支援者が協力して、子ども・子育て世代中心のコミュニティの再生を図り、地域の活力を取り戻します。	①大学等高等教育機関の誘致を目指す(実現の暁には、地元生徒の優先枠を設ける)というような壮大な計画を打ち出せないか。そのためには教育関係機関の意見も必要だが、委員、オブザーバーにそうした関係者がいなかったのは残念。	石川県の「創造的復興プラン」と本市の「復興まちづくり計画」の考え方は同じ方向であり、同プランに高等教育機関と連携した復興の推進を掲げていることから、石川県とともに取り組んでまいります。
18	29	重点プロジェクト2関係 1-3-2 子育て支援のための環境整備 ・児童生徒の推移、通学環境等を踏まえ、学校の適正規模の配置に努めます。	②「学校の適正規模の配置」が必要なのは同意だが、適正化(統廃合)した後の通学環境をどうしたいのかを示す必要があるのではないかと。具体的には、スクールバスの拡充やライドシェアの活用等が考えられるが、震災を機に、全国の先駆けとなるような取組を検討してほしい。	通学環境につきましては、「1-2-4 持続可能な公共交通の確保」(p.28)としてスクールバスや愛のりバス、のらんけプラスなどが含まれており、今後交通事業者や関係機関とともにその具体化に努めてまいります。
19	29	1-3 児童生徒 若者就職	都会(県内外)の方の二拠点生活を支える。(子育て中の方も)	「3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実」(p.45)にあるとおり、二拠点居住を前提とした関係人口の確保や、被災前から進めてきた UIJ ターン世帯の移住・定住を積極的に受け入れることとしております。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
20	29	1-3-2 子育て支援のための環境整備	「子育て支援のための環境整備」において「都会や他地域からの児童生徒を積極的に受け入れつつ」と記述されていますが、これが関係人口を増やすことを目的としたのか、または人口増加を目指したものなのか、計画の意図が明確になっていません。この点について詳しく明示して頂きたいと考えます。	御指摘の点については、関係人口の増加から取り組みつつ、将来的に定住人口の増を目指すものであり、それに向けての取組を展開してまいります。
21	29	1-3 子ども・若者に向けた支援	小中高校の学校の在り方や今後の方向性についての記載がない点が気になりました。特に門前・町野地区の小中学校、輪島地区の6合同小学校を今後どのような学校にしていくか、どのようなビジョンで子どもたちの学びの場を作っていくかに関しては輪島市における重点プロジェクトとしても良いくらい重要ではないでしょうか。学校や学びに関するビジョンをもう少し市全体で考えていく必要があるのではないのでしょうか。”学びが得られる場には人は集まる”というのは子供に限った話ではなく大人も同様です。子供たち・若者の教育に力をいれる地域であってほしいと感じています。	本市の小中学校の適正規模・適正配置や再編成案については、輪島市立学校適正規模等検討委員会に諮問し検討いただいておりますが、昨年11月20日に出された答申を受け、地域や保護者の皆様の御意見も踏まえて、今年度中に具体的な再編成の方針を示すこととしています。
22	29	1-3-1 学校・児童福祉等の復旧・整備 1-3-2 子育て支援のための環境整備 1-3-3 子どもの遊び場所やスポーツの場の確保 1-3-4 子育て家庭を地域一体で支える取組	まちづくり計画の取組事業の最優先の1つにしてほしいと思います。そして、その実施の際は、まちづくり計画の基本理念にあるように「もとよりもっと」、一時的に市外へ転出した子どもや子育て世帯が戻ってくるような、市外から輪島へ転入する「もとよりもっと」よい施設や内容にしてほしいと思います。その計画の具体案を決める時は子育て世帯の市民やその関係者等を含めて充分話し合いを行ってほしいと思います。	御指摘の内容は、重点プロジェクト2「ひとと自然が育む子ども・子育て応援プロジェクト」に示すとおり、子ども・子育て世代中心のコミュニティの再生を図り、地域の活力を取り戻すことが重要であると考えております。具体的な施策を進める際には、市民や関係者等の御意見を聞く機会を持ちながら、各施策に取り組んでまいります。
23	30	1-3-3 子供の遊び場やスポーツの場の確保	子供が遊べる屋内遊技場の整備、屋内プールの再開を求めます	子どもたちが元気に安全に遊ぶことができる場は必要です。「1-3-3 子どもの遊び場やスポーツの場の確保」(p.30)にお示ししているとおり、遊び場の整備を進めてまいります。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
24	31	1-3-7 若者の就職・転職の支援	「若者の就職・転職の支援」における「想定する事業、補助メニューまたは具体的な取組み等」がUターン、Iターンを目的としたものになっていますが、それ以前に「自分が生まれ育った土地や人を理解し、愛着を持ち移住する若者」を育てるのであれば小中高での教育や市内の企業を知ってもらう活動や若者が働きたいと思うような企業の誘致を積極的に行うべきです。若いうちから自分の地元について深く知り、愛着を育むことで就職先として市内を選択する気持ちを育むことが重要です。また、「想定する事業、補助メニューまたは具体的な取組み等」が就職・転職に対する取組みというよりも移住対策としての取組みになっていることに問題があります。	御指摘のとおり、人材の流出抑制は重要な課題であると認識していることから、「2-3-3 人材の流出抑制・確保」(p.42)の項目において下記の記載を追加します。 行政の取組 ・産業の振興及び雇用の拡大を図り、市の経済の健全な発展を促すため、企業立地に向けた支援を行います。 また、同項の想定する事業、補助メニューに下記を追加します。 ・企業立地助成金
25	33	2-1-2 朝市通りや商店街の復興	朝市通り周辺エリアの復興と並行して商店街の復興をできるだけ早く進めてほしいとおもいます。そのために各商店街ごと、または各区ごとに話し合いを行って、具体的な計画をつくってください。	商店街それぞれが自らの方向性を考えることは重要です。各商店街のまちづくりと一体となった商店街の再生を連携して進めてまいります。
26	34	2-1-3 總持寺祖院を核とした禅文化の発信・活用	ZENの文化こそインバウンドにむけて発信できるものだが、その記載がない。	御指摘のインバウンドの受入れに向けた発信は、總持寺祖院に限らず輪島が持つ観光資源、文化等全般において重要であるとの考えに基づき、「2-1-5 観光産業の復興」(p.35)において、外国人を含めた交流人口の拡大の施策に加え下記の記載を追加します。・輪島塗や朝市、里山里海の風景、總持寺祖院の禅文化などのコンテンツを活かしたインバウンド等高付加価値旅行者の誘致に取り組めます。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
27	35	2-1-5 観光産業の復興	海底隆起による自然環境の変化のPRを行政の取り組みにいれるべき。	御指摘の自然環境変化も震災遺構の1つとして捉えており、「2-1-8 災害の記録・記憶の伝承」(p.37)において、震災遺構の保存等による、復興過程そのものの価値化及び活用を図るものとしております。また、「2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備」(p.36)においても、里山里海や観光地、震災遺構が点在する海岸沿いの魅力向上について記載しております。
28	36	2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備	明解な目標として少なくと『「ユネスコ世界ジオパーク」認定を目指す』を入れる。 また、詳細を調査する必要もあるが、「ユネスコ世界自然遺産」の認定も視野にいれるべき。	既に指定されている「世界農業遺産 能登の里山里海」のPRに向けた取組を県及び周辺市町と連携して取り組むこととします。御指摘をいただいた海底隆起も震災遺構の1つとして捉えており、「2-1-8 災害の記録・記憶の伝承」(p.37)において、震災遺構の保存等による、復興過程そのものの価値化及び活用を図るものとしております。また、「2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備」(p.36)においても、里山里海や観光地、震災遺構が点在する海岸沿いの魅力向上について記載しております。 いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
29	37	2-1-8 災害の記録・記憶の伝承	「災害の記録・記憶の伝承」に関して、震災の記録を「災害記録誌」作成にとどまらず阪神淡路、東日本、熊本地震と同様に震災を後世に伝えるためのミュージアムを建設することが重要だと考えます。特に修学旅行の誘致を考えているならその必要性は一層高いと感じます。	「2-1-8 災害の記録・記憶の伝承」(p.37)において、震災遺構の保存等による、復興過程そのものの価値化及び活用を図ることとしておりますが、その具体化は今後検討するものとしてします。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
30	38	2-2-1 里山里海の再興、農林水産業の担い手	農林水産業へ就業支援の為、担い手を公務員とし、賃金保障する。	従来から農林水産業の担い手の確保が喫緊の課題となっており、人材確保の観点からも空き家対策と連携した様々な取組を行ってまいりました。このような中で災害に遭い、空き家対策との連携は困難となりましたが、御提案の件も参考としながら、第1次産業に興味を持っていただけるような取組を検討し、人材を確保してまいります。
31	38	2-2-1 農林水産業の再建・発展に向けた支援	「農林水産業の再建・発展に向けた支援」内の農業の取り組みとして「トキ放鳥受入」が含まれていますが、これは地震からの復旧復興において本当に優先すべき課題なのか疑問です。	国の特別天然記念物トキの放鳥は能登半島地震復興の象徴として実現することを目指し、石川県が中心となってその環境整備を加速するものとしています。本市としても、トキの受入れは、環境保全型農業の推進や地域ブランド力の向上につながるものとして捉えており、能登復興の象徴としての意義を踏まえ、市全体で共感を育みながら、農業の新たな価値創造に取り組んでまいります。
32	38	2-2-1 農林水産業の再建・発展に向けた支援	「農林水産業の再建・発展に向けた支援」において、農業や水産業が再開に向けた具体的な取り組みを記載している中、林業だけが10年間計画の検討に留まっている点は改善が必要です。計画期間が復旧期から創造期までをカバーしている以上、林業も再建に向けた具体的な取り組みを盛り込むべきです。	林業についても早期復興が重要である点は御指摘のとおりです。 本計画での記載は、現時点で想定する事業を記載しているものであり、具体的な事業内容等については、本計画に基づいて順次お示ししてまいりたいと考えております。
33	38	2-2-1 農林水産業の再建・発展に向けた支援	農林水産業の担い手 就農や農林漁業への手厚い就業支援を行います。	農林漁業の担い手を維持するための取組については、関係の皆様と意見交換をしながら進めてまいりますが、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
34	40	2-3-1 漆器事業者の復旧支援	「漆器事業者の復旧支援」において、「海外を含めた新たな市場への販路開拓への支援」と記載されていますが、具体的な事業内容や補助メニュー、取り組みの詳細が明記されていないため計画内容を確認することができません。具体的な支援内容を明確に記載していただきたいです。	本計画での記載は、現時点で想定する事業を記載しているものであり、具体的な事業内容等については、輪島漆器商工業協同組合を中心に漆器業関係者や専門家などと協議の上、また国や石川県の助言も受けながら内容が固まっていくこととなります。
35	40	2-3 持続可能な地域経済の再興	輪島市営業部の創設を望む 現在の産業部の機能強化として、営業部に改編。東京営業所を開設する。 営業担当 副市長をつくるくらいの意気込みがなければ、生業の再生はしない！	「輪島ブランド」は農林水産業、観光業を含め地域経済の再興において重要な視点として考えており、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
36	42	2-3-4 創業・起業や就労等の支援	今までの生業の復旧・再建は必要ではあるが、生業の再建だけでは、輪島を離れて行った人たちや新たな居住者を増やすことにはならない。 起業・創業特区として、名護市のような経済特区を目指すべきではないか？ また、研究機関として東京海洋大学の海洋生命科学部の分校を誘致し、食品生産に関わる産業の起業にも取り組むべきでは？	「2-3-4 創業・起業や就労等の支援」(p.42)記載のとおり、起業のための伴走支援と事業費への助成を行うものとしておりますが、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
37	43	3 新たなまちへの再生について	市内の生業支援だけではなく、県外の飲食チェーン店などの誘致や支援を求めます	「輪島塗」に代表される漆器業、「輪島朝市」をはじめとする商店街や酒蔵と関係している観光業、本市の食文化を支える「漁業」や「農林業」など、まずは市内の生業を再興させることにより、地域活力の創出を目指します。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
38	43	3-1-1 公共土木施設等の早期復旧、強靱化及び交通ネットワーク・ライフラインの多重化	災害時における幹線道路のリダンダンシー(多重性・代替性)の確保策として、「県道277号線(柳田-里線)」を位置付けるべき。 今回の震災では、南志見地区、金蔵地区の唯一の生活維持道路となったことは認識しておかなければならない。以前から1.5車線の整備として取り組んでいるが、今回それでは不足することがはっきりと認識できた。災害時に有効に機能する道路は片側1車線(全体で2車線)でなければならない。 改めて国道249号線のラダー道路として、県道277号線(柳田-里線)を整備すべきである。	災害時の輸送路の確保、孤立集落の発生防止に取り組むこととしておりますが、御指摘の県道柳田里線も含め、具体的な路線ごとの整備方針については、今後関係機関との協議に向け参考とさせていただきます。
39	45	3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実	「市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実」は復旧期から再生期の7年間で終了するのではなく再生期以降も継続して取り組む必要があります。	御指摘のとおり、移住・定住者の受入体制の充実は地域の人口増加や活性化にとって長期的な課題と認識します。 そのため「3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実」(p.45)の実施期間を創造期までとします。
40	48	3-2-6 環境に優しいエネルギー利用の促進	再生可能エネルギーを利用する住宅についての補助金を輪島市でも導入してほしい。	これまで地球温暖化防止の観点から、一本松総合運動公園体育館の太陽光発電の導入、公用車へのハイブリッド車の導入、防犯灯や街路灯のLED化の推進、電気自動車普及のための充電スタンドの設置などに取り組んでまいりました。 今後、本計画に基づき、住宅を含めた再生可能エネルギー利用の推進を検討してまいります。
41	48	3-2-6 環境に優しいエネルギー利用の促進	風力(洋上・陸上)発電は環境に優しいエネルギー利用とは言えない。	再生可能エネルギーの推進において、地域全体のエネルギー自給率を向上させるための風力発電の推進は地域全体のエネルギーの持続性を強化するものと考えております。多様なエネルギー源のバランスを取ることで、災害時にも安定した供給を確保できる体制の構築に向けて検討してまいります。なお、整備においては環境への配慮が重要であり、事業者にも環境配慮の取組を求めてまいります。
42	50	3-3-1 安全な避難路・避難場所の整備 3-3-2 安心な避難所運営の強化	「3-3-2 安心な避難所運営の強化」は「3-3-1 安全な避難路・避難場所の整備」と連携して行う必要があります。「3-3-2 安心な避難所運営の強化」は復旧期の3年間に限定せず再生期から復興期まで継続して取り組むべきです。	御指摘のとおり、安心な避難所運営の強化は、今回の災害のみならず、将来の災害への備えとしても継続的に取り組むべき施策であると考えます。 そのため「3-3-2 安心な避難所運営の強化」(p.50)の実施期間を創造期までとします。
43	51	3-3-3 防災体制の強化	「防災体制の強化」においてカードキー型ロックの採用は避けるべきです。カードキー型ロックは停電や電池切れの際に使用できなくなる可能性が高いため災害時に信頼性のある代替手段を検討すべきです。	カードキー型ロックは合鍵の複製が難しく、無断侵入や盗難のリスクを低減でき防犯機能の強化が期待されますが、併せて避難所等における非常用電源の確保が必要です。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	頁	該当箇所	御意見等	輪島市の考え方
44	30 44 45	1-3-3 子どもの遊び場やスポーツの場の確保 3-1-2 安全・安心な場所への居住地の形成 3-1-3 利用しやすい場所での公共施設の再整備 3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実	<p>長年放置されている空き家・空き地・耕作放棄地や、再建予定や見込みの無い空き地を整理・活用し、移転を余儀なくされる方々や新たに移住される方々の受け皿となる住宅地の整備や、公共施設の立地見直しなど、防災上安全となるような街づくりを、復興まちづくり計画に盛り込んでほしい。</p> <p>空き家や市中心部付近の空き地や耕作放棄地など、活用されないままの土地が放棄されたままでは景観を損なうため、それらを整理し用地として活用し、昨年経験したような各種災害にも耐えうるような安全な場所に公共施設やスポーツ施設、住宅地を再整備し、市内で移転を余儀なくされた方々や移住者の受け皿を増やしてほしいと考え、計画の具体策に盛り込んでいただければと考えております。</p> <p>また、住宅用地については、地権者と希望者のマッチングのような仕組みがあってもよいのではないかと考えております。</p>	<p>本計画につきましては、本市の復旧・復興の実現に向けた基本理念を示すとともに、一刻も早い復興の達成を目指し、今後の取り組むべき施策を体系的に定めた復興の指針となるものであります。したがって、具体的な施策につきましては本計画に基づいて順次お示ししてまいります。</p> <p>いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
45	35 36	2-1-5 観光産業の復興 2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備	<p>重点項目なのに宿泊施設、輪島温泉についての具体的なプランが示されていない。</p> <p>輪島消防署で開かれた住民説明会でも、輪島温泉郷・宿泊施設への支援について「投資額が膨大になるため設備の購入やなりわい補助金上乘せなどもしっかりとやっていく」と、市長も明言されていましたが、復興プランを熟読していても具体的な支援の内容について明記されていない。そして、計画の中には文面で宿泊施設などの誘致とも明記があるが、既存の宿泊施設への支援について明言がされていない。順番としては既存の宿泊施設の修繕や新設などの再建を誘致の前に明記されるべきではないでしょうか。</p> <p>また、輪島温泉の源泉も相当な被害を受けているが、復興まちづくりの観点でも、足湯は、歩きながらの周遊観光の拠点ともなりうるので、復興プランに宿泊施設再建への具体的な支援とともに源泉の修繕なども明記いただきたい。</p> <p>輪島市内に宿泊施設がないことには、せっかく素晴らしいプラン観光誘客のプランを計画しても滞在時間が短く計画の効果が最小限に留まってしまう。プランの効果を最大限に有効活用するためにも宿泊施設への手厚い支援を実施し、観光客や支援のために訪れる関係人口を輪島市内で宿泊させることで滞在時間の長時間化をしてこの復興プランを最大限に有効利用して輪島の復興を加速させてはいかがでしょうか。</p>	<p>御指摘のように、本市における観光産業の復興及び通過型観光から滞在型観光の転換を図るには、宿泊施設の復興は不可欠と考えております。</p> <p>本計画は、本市の復旧・復興の実現に向けた基本理念を示すとともに、一刻も早い復興の達成を目指し、今後の取り組むべき施策を体系的に定めた復興の指針となるものであります。したがって、具体的な施策につきましては本計画に基づいて順次お示ししてまいります。</p>
46	35 36	2-1-5 観光産業の復興 2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備	<p>観光産業の振興に関する記載に、輪島市東部地区の施策が少なすぎる。 国道249号線を南志見から東に進んだ「白崎から眺めた岩倉山・曾々木集落そして大川集落」は奥能登の伝統的な生活を偲ばせる貴重な眺めである。 過去には塩田が多数あり、漁業が生活を潤し、背後には畑や水田が存在する。まさに世界農業遺産の中心的な風景である。 此处を滞在型・体験型観光の拠点にすべき。 特に未開の「大川集落」は、考え方、取り組み方を整えれば、輪島市東部地区の発展に大きく寄与すると思われる。「大川集落」「白崎からの眺め」は大変重要で、アクセスの改善も含めて提案したい。</p>	<p>本計画は復旧復興に向けた基本的指針を定めたものであり、復興まちづくりの具体的方策については本計画策定後に関係者の皆様と議論しながら検討し実施してまいります。</p> <p>いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
47	37 51	2-1-8 災害の記録・記憶の伝承 3-3-4 災害の記録・記憶の伝承(再掲)	<p>海底隆起した場所が見える場所での震災記録館の建設の記載をのぞむ</p>	<p>「2-1-8 災害の記録・記憶の伝承」(p.37)において、震災遺構の保存等による、復興過程そのものの価値化及び活用を図ることとしておりますが、その具体化は今後検討するものとします。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
48	43 44	3-1-1 公共土木施設等の早期復旧、強靱化及び交通ネットワーク・ライフラインの多重化	「公共土木施設等の早期復旧、強靱化及び交通ネットワーク・ライフラインの多重化」は市民の生活に直結する重要なインフラであり復旧復興計画の中で重点プロジェクトとして取り扱うべきです。また、電気や通信に関しては事業者の取り組みが記載されていますが道路、砂防、河川、上下水道に関する具体的な取り組みが記載されていないのは問題です。	「3-1-1 公共土木施設等の早期復旧、強靱化及び交通ネットワーク・ライフラインの多重化」(p.43)において、道路、砂防、河川、上下水道それぞれについて行政の役割としての基本的な方針を記載しております。具体的な整備方針については、個別に現地の状況等を勘案しながら、関係機関と連携して進めるものとします。
49	48 52	3-2-5 温かみがある暮らしの再生 3-3-5 防災教育の充実、防災意識・地域防災力の向上	整備した拠点の中で、地域住民による防災訓練などを定期的実施する事で、市街地ではとくに希薄になりがちな地域のつながりを深めつつ、地域の防災力向上を図れるような施策を復興まちづくり計画の具体案に盛り込んでいただきたい。	本計画は復旧復興に向けた基本的指針を定めたものであり、防災力向上に向けたの具体的方策については本計画策定後に関係者の皆様と議論しながら検討し実施してまいります。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
50	なし	なし	北陸自動車道とのと里山海道の一本化	被災した国道や県道、市道等の復旧工事促進に向けた国や石川県との連携強化により、道路ネットワークの早期の復旧を目指し、取り組んでまいります。
51	なし	なし	のと里山街道(徳田大津～のと空港)の完全復活(4車線化)輪島までの能越自動車道の早期完成(もちろん4車線化)	被災した国道や県道、市道等の復旧工事促進に向けた国や石川県との連携強化により、道路ネットワークの早期の復旧を目指し、取り組んでまいります。
52	なし	なし	珠洲方面の高規格道路の推進(4車線化望む) 特に能登空港までは必須	被災した国道や県道、市道等の復旧工事促進に向けた国や石川県との連携強化により、道路ネットワークの早期の復旧を目指し、取り組んでまいります。
53	なし	なし	七尾市鶴浦地区と能登島野崎町への海峡大橋の建設と能登島祖母ヶ浦町(祖母ヶ浦漁協付近)から穴水町曾良地区までの海峡大橋の建設(志賀原発の事故、その他災害時の避難経路にも必要)かつ穴水から七尾市中島町の249号線大幅の改修工事	市外に関する御意見であり、御意見として承ります。
54	なし	なし	能登空港の発着本数の増、関西空港の新規採用、ダイペイの便の新規採用	能登空港の発着本数の増加や関西空港の路線開設その他の便が仮に実現すれば、今後の能登地域の活性化、災害からの復興が加速するものと考えられます。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
55	なし	なし	能越自動車道の穴水以北の道路沿いと能登空港に、マジンガーゼット、キューティーハニー、デビルマンの巨大オブジェクトの建設	マジンガーZやデビルマンなどで有名な本市出身の漫画家、永井豪先生の作品は、海外でもアニメ化され高い人気を誇っており、世界的な漫画家の出身地である強みを生かし、様々な施策を検討してまいります。
56	なし	なし	永井豪記念館の建設とマンガ家育成の塾・教室の建設(滞在できる・住めるところも)能登アニメ祭を企画	マジンガーZやデビルマンなどで有名な本市出身の漫画家、永井豪先生の作品は、海外でもアニメ化され高い人気を誇っており、世界的な漫画家の出身地である強みを生かし、様々な施策を検討してまいります。
57	なし	なし	輪島塗職人街の新設(職人の仕事の見学と展示即売を実施)	世界に誇る輪島塗の伝統文化を絶やすことなく後世に受け継がれていくよう支援を行ってまいります。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
58	なし	なし	海士体験館(仮称)の建設と海士の素潜りの見学(※海士が素潜りのすごさをダイレクトに見れる、縦に長い水槽?)海士さんの継承、所得増	引き続き国の重要無形民俗文化財に指定されております輪島の海女漁の技術保存継承の支援を行ってまいります。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
59	なし	なし	祭り記念館を新設する。(現在のきりこ会館は別館とし)あえのこと、あまめはぎ、等の神事紹介、御陣乗太鼓の展示、実演 また震災で各町内で管理できないお神輿も展示する。	「2-1-7 伝統文化・祭り等の維持・継続」(p.37)に記載の取組を実施し、伝統文化や祭り等を維持・継続していきます。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
60	なし	なし	奥能登総合病院の新設(能登空港の付近が良い・・・難病の場合東京へいけるから)	石川県が進める奥能登公立4病院機能強化検討会において、当面の医療機能の維持と将来的な病院のあり方や、医療機能の強化策を検討してまいります。

No.	頁	該 当 箇 所	御 意 見 等	輪 島 市 の 考 え 方
61	なし	なし	大規模な介護施設の建設 現在の団塊の世代そして団塊ジュニア世代の受け皿(能登の魅力都市部に発信できれば、自然・医療体制・地域魅力などで、付加価値の高い介護施設として人気で可能性あり)	「1-1-4 保健・福祉施設等の早期復旧」(p.23)において、福祉事業所への伴走支援を行いながら、福祉サービスの再開に努め、誰もが最期まで住み慣れた地域で生活続けることができるよう介護保険計画等で検討したいと考えております。 いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
62	なし	なし	全能登マラソン、駅伝のことを知事が言っていたが、地震で隆起した海岸線には車道とは別に、走る人、歩く人、自転車、等の舗装道を整備する。また、釣り客の増に貢献できませんか？	「2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備」(p.36)において、・里山里海や観光地、震災遺構が点在する海岸沿いにおいて、県と連携してサイクリングルートを整備する旨を記載しております。 いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
63	なし	なし	さまざまな問題(不登校。ひきこもり、親からの虐待、震災孤児、交通事故での孤児)での子供たちと障害者をケアする(能登希望学園・仮称)の建設・運営	被災者の生活再建として「1-1-3 心と体のケアの推進」(p.23)の取組を実施しますが、その他、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
64	なし	なし	震災で継続して居住しない家屋(被害軽微なもの)の当面の維持→震災影響のあった同地区から転居あっせんと復興の進捗の途中でIターン、Jターン、海外からの移住のニーズに対応する環境を整備しておくこと。	「3-1-4 市外避難者・移住・定住者の受入体制の充実」(p.45)の取組で、被災前から進めてまいりましたUJターン者の移住・定住を積極的に受け入れてまいります。
65	なし	なし	圃場整備 震災で中断している農地整備を確実に実施し、省力農業の推進と担い手確保(残った人、他市町の人、全国)	被災した農地につきましては、「2-2-1 農林水産業の再建・発展に向けた支援」(p.38)の取組を、国や石川県と連携して早期復旧を目指してまいります。
66	なし	なし	朝市は、昭和50年代に200万人の観光客を集めたと聞いていますが、こことばかりに値段をふっかけられたなどの悪評があったときいています。形態は昔なつかしいものもいいとおもうのですが、まずは朝市組合の団結、意思疎通が復旧の第一歩、要と感じます。(能登はやさしや土までもを再度認識して！)	シンボルプロジェクトとして、朝市周辺を本市における復興のシンボルとして再建し、朝市と商店街及び住まいの共生を目指した市街地整備を朝市に関わる皆様とともに行なってまいります。
67	なし	なし	食品、日用品の移動販売に対応する。	車で市内を回り、食料品等を販売する移動販売につきましては、市民の皆様のニーズを踏まえ、引き続き調整してまいりたいと考えております。
68	なし	なし	白米千枚田は輪島の目玉の風景です。全力をもって復旧しましょう。クラウドファンディングで資金調達できると思います。朱鷺の里構想もお願いします。	白米千枚田については、「2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備」(p.36)の取組で、白米千枚田を復興のシンボルとして、地元の意向を踏まえ、昔ながらの棚田景観の再生等を通じて、観光資源として復活させます。その他、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
69	なし	なし	不幸にして、震災と豪雨が1年の間におき、多大な被害が生まれました。半面、日本のおかれている自然の脅威を体験した知見を復興のステージごとに行政・政府に発信できると思うのです。緊縮財政といいますが、国土強靱化は、私たちの命を守るためには絶対必要です。道路、河川、橋、海岸線、山道沿いののり面の補修・強化は必須です。(私の地区の橋は昭和35年と表示されていました)能登ぐらいという感覚があるとしか思えない震災以降の対応でした。しかし、それも裏表で、南海トラフ、首都直下の地震、豪雨(毎年どこでも起こる可能性大)太平洋側で何かあれば、日本海側で支援援助することになり、長期にわたれば、住民の受け入れも対応することも念頭におかなければいけません。遠慮せずに知事、政府にもの申してほしいです。	「3-1-1 公共土木施設等の早期復旧、強靱化及び交通ネットワーク・ライフラインの多重化」(p.43)において、被災した各種インフラの早期復旧を位置付けています。必要な整備については引き続き国や石川県等関係機関と連携し、早期復旧を目指してまいります。

No.	頁	該当箇所	御意見等	輪島市の考え方
70	なし	なし	能登空港付近の工業団地への企業誘致とリモートワークを実施している企業誘致 若い人は仕事が必要 半導体は最近、水の消費の少ないものもあるとか？ 2市2町で頑張してほしい。	御指摘のとおり、企業誘致による働き場所の確保は重要な課題であると認識していることから、「2-3-3 人材の流出抑制・確保」(p.42)の項目において下記の記載を追加します。 行政の取組 ・産業の振興及び雇用の拡大を図り、市の経済の健全な発展を促すため、企業立地に向けた支援を行います。 また、同項の想定する事業、補助メニューに下記を追加します。 ・企業立地助成金
71	なし	(全般)	輪島市復興まちづくり計画において、町野方面に対する具体的な復興策が不足していると感じます。	本計画につきましては復興まちづくりの指針となるものであり、今後は輪島らしさを各地区や各活動にどのように落とし込んでいくのかが必要になってまいります。それぞれの特徴を活かした施策を実現するには、市民の皆様と行政その他関わる人全ての皆様がどのようにして一体的に活動するのが重要でもあります。今後復興まちづくりを進めるに当たり、市民の皆様にごだけ主体的になっていただけるか、それをどのように行政がサポートしていくのか検討してまいります。
72	なし	(全般)	輪島市復興まちづくり計画における「〇〇事業」の詳細な情報が不足しており、計画内容の妥当性を判断することが困難です。	本計画は、本市の復旧・復興の実現に向けた基本理念を示すとともに、一刻も早い復興の達成を目指し、今後の取り組むべき施策を体系的に定めた復興の指針となるものであります。 各施策における具体的な事業内容については、本計画に基づいて順次お示ししてまいります。
73	なし	(全般)	各基本計画において、各基本計画の実施主体が「市民・事業者等」はすべて○(関係)となっており、市民や事業者が●(主体)として関わる計画がないことに疑問を感じます。	本計画は、輪島市が行政の責任において取り組むべき施策体系を中心にまとめています。御指摘のように、施策の中身によっては市民・事業者が主体となって取り組む内容も含まれておりますが、その内容については各施策の「市民や事業者等の取組(イメージ)」として記載されているとおりです。
74	なし	なし	住民の市内間移動(移住)で集落(自治区)機能を守るまちづくり～急増する更地の有効活用を通して～ ①市内間移住を実現するための手立て 公費解体後の自宅再建の有無、土地の提供可否確認→結果を基にデータベース作成・公開→土地の購入希望者を募集→土地購入者は住宅を建設。移住し、新たな集落(自治区)構成員として参画	地域コミュニティの形成、安全・安心な場所への居住地の形成を支援する観点から、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
75	なし	なし	住民の市内間移動(移住)で集落(自治区)機能を守るまちづくり～急増する更地の有効活用を通して～②災害公営住宅に入居する世帯による新しい自治区の編成災害公営住宅用地の募集→全世帯に意向調査を実施し、入居希望世帯数を把握→共通の生活基盤に基づいて入居者を決定→新しい自治区を編成	地域コミュニティの形成を支援する観点から、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
76	なし	なし	高齢者の自宅再建の高いハードルの解消 自宅再建のための支援金の増額、地盤強化費用の補助制度の創設、高齢者への特別融資制度の創設	被災者の経済的支援の観点から、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	頁	該当箇所	御意見等	輪島市の考え方
77	なし	なし	新たな自治区の編成を実現し、新しいまちづくりを推進していくために、若い世代の働く場所の確保と開拓が課題。働く場所を確保すること	御指摘のとおり、働き場所の確保は重要な課題であると認識していることから、「2-3-3 人材の流出抑制・確保」(p.42)の項目において下記の記載を追加します。 行政の取組 ・産業の振興及び雇用の拡大を図り、市の経済の健全な発展を促すため、企業立地に向けた支援を行います。 また、同項の想定する事業、補助メニューに下記を追加します。 ・企業立地助成金
78	なし	なし	復興計画についての具体的な工程表を明示すること	本計画は、本市の復旧・復興の実現に向けた基本理念を示すとともに、一刻も早い復興の達成を目指し、今後の取り組むべき施策を体系的に定めた復興の指針となるものがあります。したがって、具体的な施策や工程につきましては本計画に基づいて順次お示ししてまいりたいと考えております。
79	なし	なし	農地の復旧作業を推進すること	被災した農地につきましては、「2-2-1 農林水産業の再建・発展に向けた支援」(p.38)にお示しする取組を、国や石川県と連携して早期復旧を目指してまいります。
80	なし	輪島市復興まちづくり計画(案)に基づく今後の取り組みについて	輪島市復興まちづくり計画(案)の作成ありがとうございます。復興に向けての枠組みが明確になり、今後は具体的な中身に取り組む段階になるかと思いますが、「みんなでつなぐ」という基本理念に沿って「復興まちづくり計画・門前版」を作成し、門前の市民が「復興まちづくり計画・門前版」について話し合える場「もんぜん未来トーク」を開催していただきたいです。	本計画につきましては復興まちづくりの指針となるものであり、今後は輪島らしさを各地区や各活動にどのように落とし込んでいくのかが必要になってまいります。それぞれの特徴を活かした施策を実現するには、市民の皆様と行政その他関わる人全ての皆様がどのようにして一体的に活動するのが重要でもあります。今後復興まちづくりを進めるに当たり、市民の皆様にごできるだけ主体的になっていただけるか、それをどのように行政がサポートしていくのか検討してまいります。
81	なし	解体を予定している家屋	解体予定の家屋の中でも修繕すれば住める家屋、かつ解体しても建て直す予定のない家屋の権利を市などに譲渡し、県内外の人に情報を発信する。もしくは、譲受した市などが修繕して利用してほしい。	移住者の増加、景観の維持等の観点から、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
82	なし	解体を予定している家屋	解体せず修繕して住み続けた場合、後の相続人が家屋の相続で負担を負わないようにしてほしい。相続人に家屋を相続する意思が無い場合、生前に死後、家屋は市などに譲渡する手続きを簡便に行えるなど。	住まいの確保等の観点から、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
83	なし	解体を予定している家屋	修繕のアドバイスができる人を解体予定の家に連れて行き、見てもらってほしい。	石川県において「いしかわ21世紀住まいづくり協議会」と連携し、被災された方々が、再建意欲を高めるための住宅の具体的なイメージを持つことを目的とし、様々なライフスタイルに応じたモデルプラン集をとりまとめております。本市においても石川県と連携し、住まい再建に関する相談を実施してまいります。
84	なし	無人になった集落など	田舎の良さを残したリゾート開発をしてほしい。大きなホテルを建てるのではなく、ランプの宿のような一軒宿など。	観光客の増加については、「2-1-5 観光産業の復興」(p.35)に示した取組を実施します。いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
85	なし	無人になった集落など	子供たちの体験学習や修学旅行、企業の研修などで農山漁村体験する場にしてほしい。	重点プロジェクト「2 ひとと自然が育む子ども・子育て応援プロジェクト」及び「1-3-2 子育て支援のための環境整備」(p.29)に位置づけた取組を通じて、子育て世代中心のコミュニティの再生を図り、地域の活力を取り戻してまいります。
86	なし	農地や漁港など	世界農業遺産「能登の里山里海」を残せるように直してほしい。	「2-1-6 観光施設・名所・自然景観等の再整備」(p.36)にお示しする取組を実施する際、いただいた御提案につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

No.	頁	該当箇所	御意見等	輪島市の考え方
87	なし	「輪島市復興まちづくり計画(案)」に関する意見募集について	『お寄せいただいた御意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめ御了承願います』 上記の部分は市民から意見を賜る旨を伝えながら回答しないという姿勢に疑問をもちます。また最後に『ご了承願います』の言い回しは、『意見をくみ上げない』と誤解されやすいです。よって個別の回答をお願いすると共に記録を残し市民に周知徹底を図ってください。意見の総数は公表すべきだと思います。	いただいた御意見につきまして、個別に直接回答はしないという趣旨であり、期間中にいただいた御意見に対する市の考え方については、本書をもって公開しております。
88	なし	「輪島市復興まちづくり計画(案)」に関する意見募集について	『広く市民の皆様から御意見を賜るべく』とありますが、このパブリックコメントを募集及び輪島市復興計画に対してどの様に広く周知させていますか？	輪島市意見聴取手続条例に基づき、市ホームページへの掲載をはじめ、本庁舎総合窓口、門前総合支所、支所、出張所、市立図書館及び市立門前図書館における閲覧により周知を行いました。また、パブリックコメントの実施については市広報紙「広報わじま」2025年1月号においても掲載しました。
89	なし	門前町における災害復興住宅の建設について	住宅を解体して(解体する予定)現在仮設住宅に入っている高齢者の中には、自力での住宅建設を諦めている人が多くいます。災害復興住宅の建設が必要です。	災害公営住宅の設置については、将来の持続可能な施設運営の観点から、将来都市構造図(p.17)における中心拠点、地域拠点、地区拠点等での整備が望ましいと考えております。 地区ごとの御要望については御意見として承り、今後の施策に活かしてまいります。